

沖縄地区数学教育協議会

第15回地区研究大会

——万人(うまんちゅ)の数学!——

各学校長殿

算数・数学担当教諭殿

研究者・学生・父母各位殿

2015年6月



沖縄地区数学教育協議会
委員長 小田切 忠人

今年、戦後70年に当たります。その70年の我が国の教育における教師の努力を、日本国憲法と教育基本法のもとで、子どもたちが平和的で民主的な社会の形成者となることを目指し、国民の教育権を確立する運動を広く展開してきたと振り返ることができます。その努力は、「新教育」を標榜しつつ、「低学力問題」に取り組む教師の日々の授業づくりから始まりました。愚直なまでに授業づくりを積み重ね、受け継ぎ、継続してきた先輩教師の姿を、私たちは後輩教師として誇らしく思います。

数学教育協議会(数教協)は、「新教育」が標榜された時代(とき)に、「すべての子どもに確かな学力を」と結成された民間の教育研究団体です。数学教育協議会の「授業づくり」は、「わかる授業」として復帰前の沖縄にも紹介されました。そして、復帰とともに、沖縄県数学教育協議会が結成されました。2000年の節目の年、沖縄県数学教育協議会は沖縄地区数学教育協議会となりました。

私たちの眼前には、多様な児童・生徒がいます。その実態は、学力の二極化と言及されてもいます。多様な子どもたちを、例外なくそのまま受け入れ、一人ひとりの学力実態に即した「授業」をすることが、私たちに求められています。これは試行錯誤の「授業づくり」の交流することによって取り組むことができる課題だとかんがえています。その交流の場となる研究会を今年も以下のとおりに開催することになりました。

教師、保護者、学生、教育関係者すべての皆さんに、第15回数学教育協議会沖縄地区研究大会への参加を呼びかけます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

期日 2015年8月7日(金)～8月8日(土)
 場所 北中城村立北中城小学校
 参加費 2,000円(父母・学生1,000円,資料代含む)
 後援 沖縄県教育委員会 北中城村教育委員会 沖縄タイムス社
 琉球新報社(予定)

【大会日程】 ※ 講師に関しては本人の日程の都合で変更になる場合があります。ご了承ください。

日時	8:45	9:15~12:15	45分	13:00~15:00	15:00~17:00	18~
7日 金	受付	公開授業(小5、6) 北棟3階6年教室 公開授業(中・高校) 北棟3階6年教室	昼食	全体講演 「子どもと親とつながる、授業で大切にしてきたこと」 北棟3階6年教室	分科会 (特別支援) (1,2年) (3,4年)(5,6年) (中・高校)	懇親会
8日 土		(小学校、支援学校) (あ) 授業作り 教具づくり (中・高校) (い) 中、高校分科会		沖縄地区数教協2015年度 総会		

【講師紹介】

[小学校・公開授業 全体講演] のむら かすゆき
野村 和之 (元小学校教諭)

小学校や特別支援学校に37年間勤め、2013年3月退職。数学教育協議会会員。これまで九州地区数学教育協議会事務局長や委員長を経て、現在数学教育協議会副委員長。日本教職員組合教育研究全国集会共同研究者。62歳。

[小学校・公開授業] まぶち だいすけ
馬淵 大輔 (那覇市立松川小学校教諭)

34歳 岐阜県出身。平成24年度採用3年間宜野湾市立普天間第二小学校で勤務後、今年度4月より那覇市立松川小学校勤務。今年度6年生担任。平成26年度数教協沖縄地区大会・全国大会(岐阜県)において「かけ算」レポート発表。数学教室(2014.12月号)「特集:えっ?これって算数!これでも算数?」に実践レポート掲載

[中高校・公開授業] う え ず たかし
上江洲 隆 (沖縄県立開邦高等学校教諭)

46歳 沖縄県出身。大学卒業後、泡瀬養護学校(現泡瀬特別支援学校)に採用。現在、県立開邦高等学校教諭。1994年に数学教育協議会に入会し、九州地区数学教育協議会、沖縄地区数学教育協議会の各研究大会にて授業者、発表者を務める。代表的な授業に「すごろくドボンゲーム」「Grapesを活用した数学実験」などがある。現在、沖縄地区数学教育協議会事務局次長。

【大会内容 1日目 (8月7日・金曜日)】

(1) 公開授業と授業研究会 (9:15~12:15)

※対象学年及びタイトルは変更する場合があります。

小学校6年 「図形の拡大と縮小:スモールライトを修理しよう」馬淵大輔

小学校5年 「折り曲げたら重なる図形(6年教材)」野村 和之

子どもたちと折り曲げたら重なる絵や図のコンクールをします。そして子どもたちが描いた絵や図をもとに、線対称の性質について考えていきます。

高校1年「コインとタイルの問題」上江洲 隆

正方形のタイルが敷き詰められた床にコインを落としてふと考えた。コインが4枚のタイルと交わる確率はどれくらい?」高校で習う内容では解決しないので、みんなで実験して調べてみることにしました。授業時間は少し長めの70分を予定しています(授業研究会が短くなります)。

(2) 全体講演 (13:00~14:45)

子どもと親とつながる、授業で大切にしてきたこと

数学教育協議会副委員長 元小学校教諭 野村 和之

野村先生は「盛り上がる授業」だけでなく、子どもや親、教職員仲間とのつながりを大切にしてきました。特別支援学校でも勤務しました。37年間の教員生活で感じたり考えたりしたこと、もちろん授業内容・方法・評価など貴重な経験をお話ししていただきます。

全国大会の公開授業で「他の公開授業は閑古鳥がなく！」という伝説の授業と講演です。

(3) 分科会 (15:00~17:00)

分科会予定レポート

(特別支援) 特別支援学校からのレポートを予定。

(小学校低学年) 「かけ算(新)」「たし算」「ゆび算から脱出する方法(加減)」等

(小学校中学年) 「わり算Ⅰ&Ⅱ」「小数の導入とたし算、ひき算」「分数」など

(小学校高学年) 「平均」「単位あたり量」「比」「割合」「対称」「小数の乗除」等

(中学校・高校) レポート多数

本年度数学教育協議会全国大会(仙台:8月)でのレポート報告

【大会内容 2日目 (8月8日・土曜日)】

(4) 小学校教具・授業づくり講座&中学校・高校分科会 (9:00~12:00)

(あ) 小学校教具・授業づくり講座 (8講座)

(い) 中学校・高校分科会 を行います

(あ) 小学校教具・授業づくり講座 (8講座)

※先着順。第3希望まで受け付け。

【小学校授業づくり講座】 ※実際の授業の様子を講師が細かく紹介します。

※材料等の準備で開設できない場合があります。事前に申し込まれた場合は変更があればこちらから連絡します。人数の制限がありますから早めに申し込みしてください。

FAX (098-935-4500:和泉) またはメール (izumi_oki@ybb.ne.jp) で。

- 第1講座 教具の役割とすばらしさ (担当:野村)
第2講座 「特別支援」の授業づくりについて (担当:小田切)
第3講座 6年の授業作り&ソーマキューブ作り&分数カラータイル
費用:200円

[教具づくり講座]……すぐに授業で使える教具を実際に作ります。

- 第4講座 (担当:馬淵) 「かけ器 (2014年登場、新教具)」
※かけ算の授業で使います。京都の下田先生発案の教具を沖縄で実践しました。
- 第5講座 (担当:西原 他) 「3~5年 小数タイル」
※小数の導入 (3年) から加減乗除 (3~6年) まで使えます。
- 第6講座 (担当:槇田) 「3~5年 わり器」
※3年のわり算から4年の2けたのわり算まで使えます
- 第7講座 (担当:山本、玉城他) 「5~6年ブラックボックスと割合」
※5, 6年の最難関の割合を克服するブラックボックスと「㊦の饅頭！」
- 第8講座 (担当:島袋他)
「ゆび算脱出プリント (加減) とフラッシュボード」。
※たし算、ひき算が苦手な子を助けるたし算フラッシュボード+新教具登場

(い) 中学校・高校分科会……初日の分科会の続きを行います。

【問い合わせ】

本大会事務局 天野 正巳 TEL.050-5858-5961 (携 帯)

和泉 康彦 TEL.090-9655-8456 (携 帯)

E-Mail izumi_oki@ybb.ne.jp

FAX…北中城小 098-935-4500

授業・教具作り事前予約申込書（先着順）

次ページをFAX（098-935-4500）またはメール（izumi_oki@ybb.ne.jp）で北中城小学校 和泉まで送付下さい。

- (1) 授業・教具作り講座は、FAX（098-935-4500）、メール(izumi_oki@ybb.ne.jp)で申し込まれた方から先着順に受け付けます。第3希望まで受け付けます。費用は当日支払い。キャンセルは自由です。変更も可能です（ただし講座の空きがある場合のみ）
- (2) 材料の確保ができない場合、大変申し訳ありませんが開設できない場合もあります。その場合は事前に連絡さしあげます。
- (3) 当日の開始時間【8月8日 9時 北中城小学校】までにご連絡がない場合はキャンセルさせていただきます。遅れそうなときはご連絡ください。（和泉 090-9655-8456）
- (4) 費用は、大会参加費（2000円）+材料費（0～800円）を徴収します。材料費は大会1日目にお知らせします。

現在、予定されている教具作りの講座名（変更の可能性あり）

[授業づくり講座]

第1講座（担当:野村） 教具の役割とすばらしさ
材料費0～100円程度

第2講座（担当：小田切） 材料費 0円程度
※「特別支援」の授業づくりについていろいろな相談を受け付けます。

第3講座（担当：牧志）材料費 200円程度
※6年の授業作りをソーマキューブ作りや分数カラータイルで学びます。

[教具づくり講座]

第4講座（担当:馬淵） 材料費 200～400円程度
「かけ器（2014年新教具登場）」
かけ算の授業で使います。京都の下田先生発案の教具を沖縄で実践しました。

第5講座（担当：西原 他）「3～5年 小数タイル」
材料費の目安 1グループ分400円程度 教師用700円

※小数の導入（3年）から加減乗除（3～6年）まで使えます。

第7講座（担当：楨田）「3～5年 わり器」 材料費の目安 10人分 500円程度
※3年のわり算から4年の2けたのわり算まで使えます

第8講座（担当：山本、玉城）「5～6年ブラック ボックスと割合」
材料費の目安 300円程度（ただしB4の空き箱持参）

※5、6年の最難関の割合を克服するブラックボックスと「㊦饅頭！」

第9講座（担当：島袋）材料費400～600円程度

ゆび算脱出プリント（加減）とフラッシュボード。

※たし算、ひき算が苦手な子を助けるたし・ひき算プリントとフラッシュボード

※材料などの都合により講座は変更する可能性があります。その場合は事前に申し込まれた方には、ご連絡差し上げます。

